

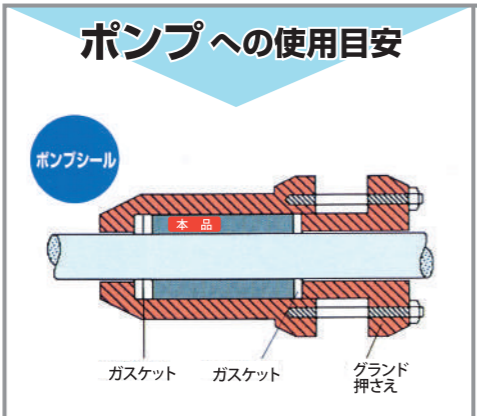
Mechanical Sealing Compound
Tom-Pac[®]
トムパック



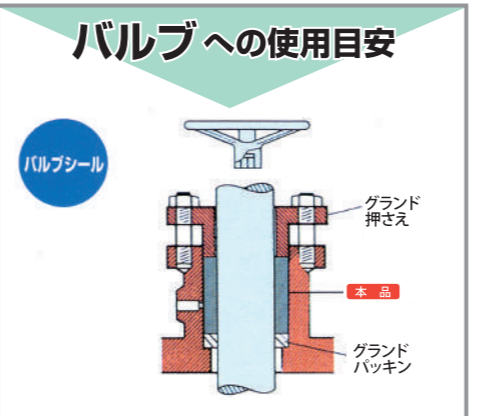
汎用タイプ
トムパック TP-4000
Tom-Pac TP-4000
汎用性のある不定形シール剤です。
適用
廃水スラリー、汚泥、油、カーボン粉末等
ポンプ、スクリューコンベアー、バルブ etc

白色タイプ
トムパック TP-5400
Tom-Pac TP-5400
白色の不定形シール剤です。
USDA H-1グレードです。
適用
食品、医薬品、化学品等のポンプ、バルブ、真空反応釜、ロータリーバルブ etc

耐薬品タイプ
トムパック TP-4800
ブラックマックス
Tom-Pac TP-4800 BLACK MAXX
耐薬品性に優れた不定形シール剤です。
70%塩酸浸漬テストで70,000時間の耐溶解性をクリアしています。
適用
化学薬品等の攪拌機、反応釜、スクリューコンベアー、ポンプ、バルブ etc



ボックス内部圧 1.5MPa
耐熱温度 -40℃~260℃^(推奨)
315℃^[使用限界]
pH 2~12



ボックス内部圧 7.5MPa
耐熱温度 -17℃~205℃
pH 2~12

ボックス内部圧 1.5MPa
耐熱温度 -17℃~260℃
pH 2~13

ボックス内部圧 7.5MPa
耐熱温度 -17℃~205℃
pH 2~13

ボックス内部圧 1.6MPa
耐熱温度 -17℃~260℃
pH 0~14

ボックス内部圧 7.5MPa
耐熱温度 -17℃~260℃
pH 0~14

製品に対するお問合せは、お気軽に当社営業担当までご連絡ください。

Registered Trademark © SANARU COMPANY LIMITED.

日本総発売元
株式会社 佐 嶋
SANARU www.sanaru.co.jp
〒245-0053 神奈川県横浜市戸塚区上矢部町 2091-19
TEL. 045-811-9311<代> FAX.045-811-9319

取扱代理店



交換不要の不定形軸封シール剤

Mechanical Sealing Compound
Tom-Pac[®]
トムパック

トムパックは不定形の繊維状シール剤で、
交換作業の手間を省略できる
グランドパッキンの代替製品です。
工場設備メンテナンスのトータルコスト削減に
大きく貢献いたします。

ポンプ・バルブ類の
漏洩ゼロ!



日本総発売元
株式会社 佐 嶋

安全で長持ち! コスト削減にも役立ちます。

製品特長

不定形軸封シール剤 Tom-Pac®

シャフトを傷つけません

- トムパックは、フレキシブルな不定形繊維状パッキンです。選りすぐったコロイド状の潤滑剤の混合物で、アラグラフィー繊維と融合。アスベストは一切含まず、高温・高圧下でも優れた機能を発揮します。
- シャフト・スリーブの周りを均一に包み、その優れた摺動性能で摩耗を防ぎます。同時にシャフトへの負荷を大幅に減らすことができますから、省エネにも貢献します。
- すでに摩耗しているシャフト・スリーブに対しても効果は変わらず、シールの難しいスラリーや、粉体に対しても長いシールライフをお約束します。

交換作業は必要ありません

- トムパックは、回転機の軸封部からの漏れを、限りなくゼロに近づける画期的なシール剤です。自己潤滑性があるため、ランタンリングからの冷却水及びフラッシングも不要ですからランニングコストもかかりません。
- 何とんでも一度充填すれば、交換する必要もないのが大きな特長。増し締めが効かなくなっても、わずか5分程度の簡単な充填作業だけでメンテナンスを完了することができます。

ケミカル類のシールにも使用できます

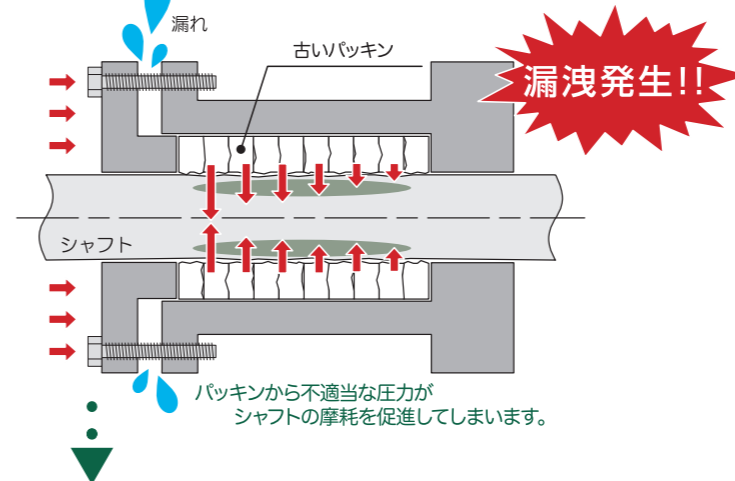
- トムパックには「汎用タイプ」、「白色タイプ」、「耐薬品タイプ」の全部で3種類がございます。いずれのタイプもいかなるケミカル類に対して不活性ですから、用途に合わせて安心してお選びいただけます。
- 溶剤や、強酸、強アルカリばかりでなく、白色粉末や食品関係でも使用可能です。詳しい適用につきましては、このカタログの裏表紙をご覧ください。

工場設備 メンテナンスの トータルコスト削減

- トムパックは不定形であることが大きな特徴。ですから、いかなるサイズの機器に対しても使用することが可能です。
- これまでのように、さまざまなサイズのパッキンをストックする必要もなくなり、管理のコストや手間も大幅に軽減できます。
- また、実際に作業する際にも特別な工具は必要ありません。従来のように、わざわざサイズを合わせて加工したり、たたいて充填する必要もありませんから、生産効率も大幅にアップします。

充填方法

不定形軸封シール剤 Tom-Pac®



- 充填方法はいたって簡単。以下の基本的なステップに従ってお進めただけで、短時間に完璧な作業を行います。
- その上、メンテナンスも極めて簡単ですから、これまでのような手間がかからず、目に見えない作業コストも押さえることができます。

ご準備いただく物

- トムパック
- ガasket、もしくはグランドパッキン
- パッキングツール
- その他工具類

STEP 1

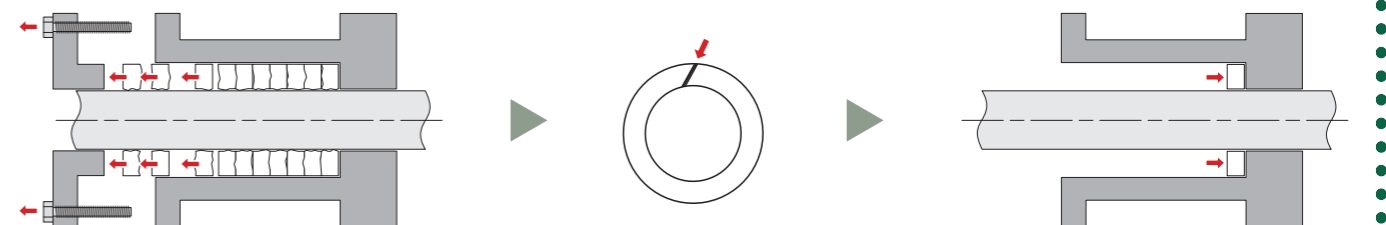
- 古いグランドパッキンを全て取り出します。(ランタンリングの奥も出来るだけ抜いて下さい)

STEP 2

- ガasketは、予めサイズに合わせて切っておきます。(1ヶ所スリットを入れて下さい)

STEP 3

- ガasketをドライバー等を使って奥まで押し込んで下さい。スラリーなどの場合は、ガasketを2~3枚入れておくと一層効果的です。



STEP 6

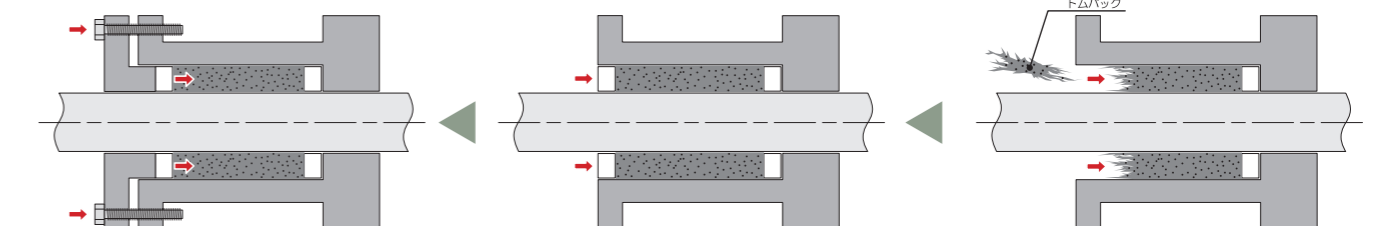
- グランド押さえを締め込みます。
- ナットが緩まない程度で、初期の締め込みをします。
- その際、グランド押さえのナットは左右均等にかけ下さい。
- 締めすぎますと発熱しますので注意して下さい。

STEP 5

- グランド押さえ側にガasketを充填します。

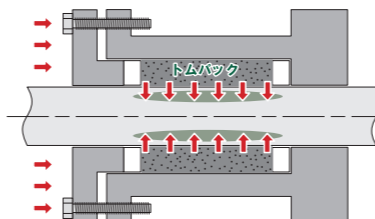
STEP 4

- トムパックを充填します。
- 充填の仕方はいたって簡単、指で均等に押し込んで下さい。
- あふれるくらいに押しこみます。



充填完了

- 運転を開始して下さい。
- 充填が不均一の場合は漏れが生じます。その際には1/6ナット位づつ締め込んで下さい。
- 締め込んでトムパックの量が不足した場合は少量補充して下さい。



ガasketの選び方について

- スラリーや粉体の場合には基本的にガasketパッキン(シートパッキン)をご使用下さい。
- 水や、油、など液体の場合は、グランドパッキンをガasketの代わりに使用して下さい。
- 元々のグランドパッキンの巻数が合計で4本以下の場合は、ガasketを使用して下さい。ガasketの材質などは特に指定はありません。テフロンシートなど加工性の良い物をお勧めいたします。なお、シートのみはできるだけ3mm以上の物をご使用下さい。

メンテナンスについて

- メンテナンス方法は、基本的にグランドパッキンと同様です。増し締めの際は、左右均等に締め込んで下さい。
- 締め込む際には1/6ナット分程度少しずつ行って下さい。漏れが発生した場合は、できる限り早めに増し締めを行って下さい。長期間放置しますと、その後のシール性に悪影響を及ぼします。
- 締めしろが無くなった場合は、本品を少量補充して下さい。
- 締め過ぎによる発熱、もしくは発煙した場合でも、運転が安定するとそのまま治まるケースもございます。しばらく様子を見た後、治まらないようであれば少しナットをゆるめて下さい。